

## 平成29年度 向山保育園 事業計画

事業所名	向山保育園
施設長名・管理者	園長 倉光 智奈津
実施事業	乳児保育、低年齢児保育、延長保育、障がい児保育 一時保育（自主事業）
開設年月日	昭和57年4月1日
所在地	倉吉市和田東町向山917
正規職員数	12名
臨時職員数	3名
パート職員数	7名
定員	60名
職員配置	園長1名・園長補佐兼主任保育士1名・業務主任兼保育士1名 副主任1名・保育士16名・調理員2名

### 1 基本方針

本園は、児童福祉法第39条の規定に基づき、保育に欠ける子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図ることを目的とする児童福祉施設です。

児童福祉の理念を根幹とし、児童の最善の利益を願い、すべての職員が厚生労働省が制定した「保育所保育指針」に依拠して保育に臨みます。

また、保護者から信頼され、地域から必要とされる保育園運営を目指して、常に努力研鑽します。

#### 【保育方針】

「あかるく のびのび たくましく」

#### 【目指す子ども像】

- ・健康な体で意欲的に遊ぶ子ども
- ・豊かな心を持ち、考えて行動する子ども
- ・自分の思いを出し、友達の思いも大切に作る子ども
- ・きまりを守り、自分のことを自分で出来る子ども
- ・すべての人や物事に感謝出来る子ども
- ・すべての「いのち」を大切にする子ども

### 2 運営

#### (1) 保育需要の対処

- ① 就学前保育、乳児保育、世代間交流、育児講座を行います。
- ② 開所時間の延長保育を実施します。

#### (2) 主な保育計画

- ① 年長児は年間を通して、和太鼓、お茶会を行います。

② 3歳以上児は、年間を通して高齢者施設、障害者支援施設での交流を行います。

③ 主な行事

七夕まつり、運動会、クリスマス遊戯会、合同音楽会、親子遠足、星空保育、もちつき、ちまき作り、入園式・卒園式、毎月1回の小遠足

### 3 主な実施事業

(1) 施設整備事業

① 屋上防水改修工事業 175千円

(2) 事業活動

① 向山夢太鼓

年長児が、年間を通して和太鼓に取り組み、思い切り自分を出し切り表現する楽しさを味わい、友だちとの協調性も養います。また、施設間交流、地域との交流活動を通し、思いやりの気持ちや自尊感情を育てていきます。

② すくすくデー

地域の保護者を対象に育児に関する勉強会をし、離乳食講習会などをしながら子育てに安心感をもってもらいます。

③ オープンデー

毎週木曜日に地域の保護者・乳幼児を対象に園を開放し、遊びに来てもらいます。

④ 合同音楽会

毎年2月、倉吉未来中心大ホールにて、西倉吉保育園、向山保育園と共に音楽会を開催します。年長、年中組による歌・合奏、踊りを披露します。

⑤ 法人内、高齢者、障害者視線施設との交流を行い、思いやりの気持ちや優しい気持ちを育て、子どもの人権意識を高めていきます。

### 4 安全管理・衛生管理

(1) 保育中の事故防止のために、子どもの心身の状態をふまえつつ、保育所内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制作りを図ります。

(毎日の遊具点検、保育室内の点検、最終鍵閉め当番の園舎内点検)

(2) 家庭や地域との諸機関の協力の下に安全指導を行います。

(3) 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持すると共に、施設内外の設備、用具などの衛生管理に努めます。

(4) 0歳児の突然死予防を、SIDS（乳幼児突然死症候群）表によりチェックし徹底します。

(5) 遊具点検、衛生点検、消防点検を行います。

### 5 防火・防災・救助体制

防災対応マニュアルによる防災及び災害時の人命の安全、被害の軽減を図ります。

(1) 各保育室（1歳児、2歳児、3歳児）に避難袋を常備しておき、避難時に持ち出し、使用します。

(2) 外部からの侵入防止のためのインターホン、非常通報装置を活用した措置や訓練

など、不測の事態に備えて必要な対応を図ります。

(3) みのりサングリーン、向山ブルースカイとの連携を図ります。

(4) 災害訓練（火災、地震、台風、豪雪）消火訓練を毎月1回行います。

(5) 倉吉市防災無線、火災通報装置、AEDを導入し、防火、防災、救助体制を整えます。

## 6 職員の資質向上と研修

保育の資質向上のために、職員1人ひとりが、保育実践や研修などを通して保育の専門性などを高めるとともに、保育実践や保育内容に関する職員の共通理解を図り、高め合う職員集団を目指します。

(1) 外部研修・発表会への参加

①市・県、鳥取県育み協会主催の研修会への積極的な参加を行います。

②久米中校区同和教育研究協議会主催の研修会への参加を行います。（29年度は公開保育を行います）。

(2) 法人内部研修への参加

①法人主催による各種研修会への参加を行います。

②三園の年齢別研修会を行い、また合同研修では全職員が参加を行います。

(3) 施設内のOJT・職場研修の実施

①園内研修として、研究テーマに沿った公開保育を行い、保育の資質向上に努めます。

②毎月1回全職員参加の職員会、毎日のミーティングを通して、保育に対する共通理解を図ります。

## 7 各種団体との連携と地域交流

(1) 小学校との連携

保育園行事等の案内状の送付、保小（保育園 小学校）連絡会、小学校参観日発表会への出席、久米中学校区同和教育研究協議会における保小の連携を図ります。

(2) 専門機関との連携

①地域における支援、園における支援

倉吉市子ども家庭課

②保育の専門性を高める研修会や指導

中部教育局

③支援の必要な子に対する相談・支援

倉吉市保健センター、エール（鳥取県自閉症・発達生涯支援センター）、医療機関

(3) 地域交流

①馬場町夏祭り、社五輪祭りに参加…5歳児

②打吹まつり「飛天WASSO」参加…4、5歳児、保護者、職員

③福祉の里交流祭りに参加…5歳児

④福祉の里交流文化祭に参加…4、5歳児

⑤地域の老人クラブや公民館の方の人材を利用しながら、園児の体験や経験を増やし地域の方との交流をしていく。

8 年間行事等  
別紙のとおり